

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ピース			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～	R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～	R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・一日お預かりのため、幼稚園、保育園と同じような一日の生活が身に付いていく。 ・こどもの特性がわかりやすい。 ・服の着脱や午睡など身近なことが自立していく。 ・遊び友達の中でその子に必要な支援を考え楽しみながら成長することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの主体性を大切にし、児童指導員が関わり過ぎない遊びの提供。 ・見守る支援。 ・個別支援を行える環境を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援を充実させる
2	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団の為、個別対応が取りやすく、一人一人の対応が可能で子供たちが落ち着いて過ごせる。 ・外の遊びも充実し、経験を増やすためいろいろな場所へ出かけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早めのトラブルに対応しパニックにならないよう支援を心がけている。 ・自由遊び時、子供が主体となって遊べるよう距離間に気を付けている。 ・指先トレーニング玩具、絵本、知育用具、をたくさん備え遊びながら成長をサポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合った、ワーク、ぬりえ、ひらがな、数字などプリントを用意し成長を促すよう支援の充実を図る。 ・個々を伸ばすためできないことにもチャレンジさせていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンフロアなので全体が見え死角がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高くない棚を使用し、子供の目線でおもちゃを取り出せるようにしている。 ・同線の工夫。 ・コーナー分けをし、遊びに集中しやすい環境を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい遊びを取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での支援で事業所内では落ち着いて過ごせているが、幼稚園、保育園での様子とは違うことも多く、児童指導員が把握しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、訪問支援、家庭など情報を共有して個々の成長を把握していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを使用しての支援。 ・ルーティーンのみえる課化。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中は基本自由遊びなのでお迎えが早い子の個別支援の時間を取りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く帰る子を優先し個別支援の時間を取るよう心がける。 ・自由遊びは好きな遊びに偏るので、苦手なことも挑戦する機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当が決まっていないので個々の支援の明確化を図る。 ・児童指導員の申し送り、連携の徹底。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援ピース

公表日 R7年 2月 14日

利用児童数 18

回収数 18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	18					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	1			田町幼稚園のリトミックに参加させて頂きました	田町幼稚園やいさみ保育園など今後も連携を取らせていただきたいと思います
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2		1		月に1回交流会を行っています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1				気になったことは登降園時を利用して話をするようにしています 半年に1回モニタリングをしています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	2		2	交流会に参加できていないので予定があれば参加したいと思う	月一交流会を行っています 兄弟の参加も受けられています 合計の意向があれば違った形の懇談会なども考えていきたいと思っています
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					要望があれば、その都度面談を取り入れ

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	18					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				通所日数が少ないためやったかやっ ていないか記憶にない	契約時に話をしプリントを配布してい ます 年に3回程度避難訓練をしています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	17			1	通所日数が少ないためやったかやっ ていないか記憶にない	年に3回ほど避難訓練をしています インスタグラムに訓練の様子をあげてい ます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	17			1	けがをしたことがないのでわからない	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	けがをしたことがないのでわからない	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				1度も泣くことなく笑顔で通っています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				毎日楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				とても満足しています	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援ピース		R7年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		特性や利用数に合わせて動けるようになっていてゆとりのある人員配置である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		玩具の場所や使い方など子どもたちの目から入るようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		こどもたちの様子に合わせて玩具の入れ替えを定期的に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個々の特性などに合わせ、クールダウンの場所や個別での対応を可能としている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			意見は大切にし支援に取り入れるようにしていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		短時間となってしまうが小さなことでも意見交換し改善に努めている	個々の意見を大切にみんなで話し合う時間を持つように心掛けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		相談支援、保育園や幼稚園との連携正式ではないが第三者からの指摘をうけ改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修報告は見ているが、受講はできていない。	研修があれば参加できるようにしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		保護者、職員とも把握でき、いつでも確認できる環境となっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		日々の様子や成長、モニタリングにより保護者の意向に沿って作成するよう心掛けている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		管理責任者も保育に関わっていて個々の特性を把握できるよう努めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画に目を通し支援するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	こどもの人数、特性で日々のスケジュールを組むようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		こどもの成長に合わせて玩具の入れ替えや、季節に沿ったものを取り入れ子供も楽しんで取り組むよう支援している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		少集団での行動を主に特性を踏まえたうえで個別の活動を取り入れるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		週担当とし、分担しわかりやすく、いろいろなパターンで動けるようにした。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		うまく支援できなかったときなど、気になったときや、一日の最後に反省をしている。指導員の共通理解を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		モニタリング前に指導員からのヒアリングも行いそれも踏まえて見直ししている	半年に一回だが、ご父兄の要望があればいつでも見直します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		こまめに連絡を取り問題の対処に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		併行利用の場合は幼稚園、保育園と連絡を取りエンデの様子で支援を考えたり、園に見学に行き相互理解に努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		1		機会が合えば連携していきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	いさみ保育園、田町幼稚園での交流を持たせていただいている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		登降園に話す時間がある。信頼関係構築の元話しやすい環境に心掛けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		月に一回の交流会がそれに繋がっていけるといい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		月に一回土曜日交流会を実施している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ホームページを新しく見やすくした。 インスタグラムで活動報告をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			